

治療で用いられず患者さんから研究目的での使用を 許諾された凍結受精卵を使用して、国内で新開発の 培養液の培養試験を行います。

日本卵子学会に培地開発委員会が設置されています。ヒトの卵管内組成を網羅的に分析した結果をもとに、より生理的でかつ安全な新培養液の開発が行なわれ、3種の培養液候補が作製されました。

これまでの市販培養液は、マウスなどの実験動物をモデルに海外で開発されてきましたが、今委員会で開発に取り組んでいる培養液は、完全にヒトをモデルとして作られた純国産のものです。「ヒト受精卵にとって本当に必要な物資が、必要な分だけ」含まれた培養液がようやく実現可能になろうとしています。さらに検討を進めるための最終チェック段階として、実際に試験的にヒト胚を培養した有効性の評価が必要です。研究使用に対し患者さんの同意が得られた凍結受精卵を使用し、3種の候補培養液、1種の市販培養液の計4種を用いて培養し、形態的発育評価および生化学的解析を行ない、比較します。そこで得られた結果をもとに、新培養液を選定します。

<研究参加施設(50音順)>

いしかわクリニック、京野アートクリニック、蔵本ウイメンズクリニック、
セント・ルカ産婦人科、英ウイメンズクリニック、ミオ・ファティリティ・クリニック、
吉田レディースクリニック

JISART 倫理委員会 承認
(2012-05号)